

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年1月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676300173
法人名	有限会社 すりい
事業所名	グループホーム ふれあい館
所在地	鹿児島県曽於市大隅町月野3486-6 (電話) 099-482-5333
自己評価作成日	平成25年10月29日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成25年11月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・基本理念である「あなたがあなたらしく」を基に、生活を支援する仲間(家族同様)として、試行錯誤しながら共に笑い、泣きながら利用者一人ひとりの思いに寄り添いながら支援をしています。

・チームケアの実践に力を入れており、職員一同が「信頼」「協力」「理解」をし、認知症介護の向上に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○市の郊外の県道沿いに位置し、周りを大きな山々に囲まれた自然豊かな環境で、すぐ近くには畑や茶畑が広がっている。建物は2階建ての鉄筋コンクリート構造で、各階それぞれに季節感や生活感のある飾り付けやレイアウトとなっている。敷地内の菜園や近くの農地で栽培している作物の成長など楽しめ、季節を感じることができる。

○利用者・家族、管理者、職員の一体化はすばらしく、「あなたがあなたらしく」の理念にそって、家庭的な雰囲気のもと日々の利用者の生活を支援している。また、外部の研修に積極的に参加し、参加者は情報を持ち帰って全員で共有している。

○地域・行政との協力関係作りに積極的に取り組んでいる。とくに地元小学校との交流が盛んで、ホームの七夕作り、ソーメン流し等に訪問があったり、利用者が学芸会の見学に行ったり、子ども達から訪問後の感想文や暑中見舞いのはがきをもらったり、利用者の楽しみとなっている。

○看取りには原則として対応していないが、利用者・家族に安心していただけるよう、終末期や重度化に対しての医療連携やケアの方法等についての研修を行っている。出来るだけ利用者・家族の希望に沿う形で関係者との話し合いを行い、関係機関の協力を得る体制を整え、主治医、訪問看護事業所や職員の連携を図った支援に努めている。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	基本理念はわかりやすい言葉にして掲示している。毎朝1階2階合同の申し送りをして、共通認識を持つように努めている。	地域密着型サービスの意義を踏まえた基本理念があり、利用者個々の人格を尊重して地域の中でその人らしく楽しく暮らせるように日々のケアに取り組んでいる。管理者と職員がミーティングや日常支援の中で、共有し、意識づけをする事で、サービスの実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の交流や行事へ積極的に参加をし、地域に根づく施設を目指している。	地域の小学校とは長く継続的に交流を持っている。学校行事の「共に生きる」の授業の中で職員が講話をし、その後利用者と児童との付き合いが生まれる。季節の行事、餅つき、そば打ち等を近隣の方々と利用者が共におこない、積極的に地域との交流を図っている。災害時の食料の備蓄等は地域の事も考え保管している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の小学校へ福祉講座などしたり、地域の方々の福祉相談にも応じるように努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を行い、意見交換を行っている。会議での意見も職員会議などで話し合いをして迅速に対応している。また、会議議事録は必ず推進委員へ送付している。	運営推進会議は家族や町内会長・民生委員・行政の職員等、多くの関係者の参加を得て隔月開催している。現況報告や行事案内・問題点等について意見交換が行われ、助言・提案を真摯に受け止め申し送り等で検討し、サービスの向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	行政主催の勉強会へも積極的に参加をしている。また、サービス運営等で疑問が生じた際などは、相談などもしている。	市、地域とのネットワークを大切に取り組んで運営推進会議への参加も毎回していただく等、協力関係を築いている。「こころの手帳」（高齢者の情報）への協力、取り組みにも参加し、情報の共有を行っている。管理者は、介護認定の審査員の一人となっており、連携を強くしている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	日頃から徹底して伝える努力をしている。また、施設内で勉強会をし、全職員の共通認識を高めるように努めている。	身体拘束マニュアルのもと、事業所全体で、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。言葉による制限等にも気を配っている。施設内外での研修にも参加し、身体拘束への正しい理解や対応を深めている。また、帰宅願望が強い利用者については、施錠等の抑制は一切せず、散歩したり、外出、外泊のフォローを家族と協力しながら実践している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日頃から徹底して伝える努力をしている。また、施設内で勉強会をし、全職員の共通認識を高めるように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	毎年「高齢者の人権擁護」に関する外部研修参加を積極的に促している。また、日頃から行政や包括支援センター等へも相談・助言等を頂きながら、対応をするように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際は、重要事項説明書、サービス利用契約書、同意書等にて説明を行い、利用者の思いも含め、ご家族の了解を頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日頃から利用者の要望等や思いを意識して聴くように努めている。また、ご家族とも面会時や電話などで要望や意見がしやすい雰囲気作りに努めている。意見や要望やミーティング時など職員へ伝え、改善に取り組むように努めている。	日常の表情やコミュニケーションの中から察知し、くみ取るようにしている。毎月の便りで利用者の状況報告、行事案内等をしている中で、家族からの返信で意見、情報をいただき、カンファレンス等で検討している。職員、ケアマネージャー等も利用者の行動を注意深く観察し、情報は常に共有している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日頃から職員の意見や提案を汲み取るように努めている。必要に応じて、個人面談の場も作り相談等にも応じている。	ミーティングや朝の申し送り等、日頃より、代表者や管理者は職員の意見や提案を聞く機会を設け、運営に関する意見をサービスに反映出来るように努めている。また、個人の相談が気軽に出来るような職場環境作りにも努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の要望等の含め、柔軟に対応している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得や研修参加など積極的に支援をしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホーム連絡協議会に参加し、他のグループホームとの交流や情報交換を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談の段階から、本人との関係を築けるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談の段階から、家族との関係を築けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時点から「今、何が必要か」を見極めた対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は「共に生活をする仲間（家族）」の思いを持ちながら、日々の暮らしの中で感情を共有しあう関係を大切にして支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は家族の思いを受け止めながら、家族と共に利用者の生活を考えるように支援をしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の馴染みの関係性を大切にした支援をしている。(自治会への参加や墓参り) また、本人の要望で、自宅への外泊も支援している。	自宅への外泊や墓参り、地元行事への参加、馴染みの薬局や美容室への同行等、利用者の馴染みの人や場所との関係継続への支援を心がけている。また、家族や友人・知人の来訪時には、ゆったりと過ごせるように配慮し、気軽に立ち寄って頂けるような開かれた施設づくりに努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの個性を見極め、利用者同士の関係作りにも努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院等でサービス利用(契約)が終了しても、その時の状況に応じて、支援を継続するように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のかかわりの中で言葉やしぐさ等で一人ひとりの思いを把握するように努めている。また、朝の申し送り時は1階2階合同で行い、情報の共有に努めている。	入所時に利用者・家族からアセスメントを細かく行なう様努めている。職員との会話の中で出た何気ない言葉等を大切にし、必要な対応につなげている。利用者が楽しく、その人らしく過ごせるように全職員が情報収集に取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	得られた個人情報だけでなく、日々の暮らしの中で「その人らしさ」が生かせるように取り組んでいる。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日頃から一人ひとりの生活リズムを把握しながら、本人の望む生活が出来るように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活で本人、ご家族の思いを汲み取りながら、介護計画を作成してる。また、カンファレンスやモニタリング、定期的な担当者会議にて、本人、家族、担当医、職員の意見を反映するように努めている。	利用者の何か気になること、気づきがあった時に即カンファレンスを行い、実践し、モニタリングを行なっている。カンファレンスやモニタリング、担当者会議にて専門的な意見も取り入れながら、ケアの課題を解決できるように努め、チームとして、統一したケアが提供できるよう日々、取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録や業務日誌だけではなく、毎朝1階2階合同の申し送り時、気づきや話し合いをして介護実践へつなげるように努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人ひとりのニーズに対し、柔軟且つ最大限に取り組むように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人の意向を取り入れながら、関係機関等と協力しながら、取り組んでいる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関と連携を図り、本人、家族の要望に柔軟に対応するように努めている。	利用者、家族の希望に応じたかかりつけ医への定期受診の支援に努めている。また、場合によっては、協力医療機関の主治医の往診を依頼したり、訪問看護師との医療連携を図る事で、適切な医療提供を支援している。必要時の主治医や専門医への通院も職員が適切に支援し、家族の軽減に繋げている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日頃から、協力医療機関と連携を取り医療面、健康面の相談を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関と連携を図りながら、その時に応じた支援を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	基本「看取り」は行っていないが、本人や家族の意向があれば、協力医療機関等と連携を図りながら、対応を行うことにしている。また、日頃より家族とも状態変化時の対応等についても話し合うようにしている。	かかりつけ医への受診や協力医療機関の主治医の往診及び訪問看護師による医療連携により重度化や終末期に向けた、事業所のケアの方針を、利用者、家族に説明し、同意を頂いた上で、医療スタッフと職員全員がチームとなって支援していくよう努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員は、定期的に救命救急講習を受け、心肺蘇生法の訓練を受けている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年二回の防災避難訓練だけでなく、毎月自主訓練も行っている。また、運営推進会議の開催に合わせ自主訓練を行い、運営推進委員の方々に訓練の様子をみてもらい、意見を頂いている。	夜間想定も踏まえた、年2回の防災訓練を開催し、毎月、自主訓練も実践している。スプリンクラーの設置や水・食料の備蓄も揃えており、職員全員が災害対策に関する方法を身につけられるよう努めている。また、運営推進会議時、防災訓練を行い、多数の地域住民の参加を得て、意見をいただき次回の訓練に活かしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日頃から利用者一人ひとりの人格を尊重した対応を心がけている。また、基本台帳は相談室の鍵のかかる棚に保管し、外来者の目につかない場所に保管している。	個人情報・日常のケアに際して利用者・家族の尊厳やプライドに充分配慮した言葉かけや対応に努めている。関係機関への情報提供、居室の見学等は家族の同意を得て行い、各種記録等は人目につかない場所に保管している。ポータブルトイレも日中は居室に置かない等、利用者本位の支援に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃より、利用者一人ひとりが自分の思いを表現できるような雰囲気作りに努め、声かけや支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の日課は決めず、利用者一人ひとりが「自分らしい」生活が出来るように支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	地域の理容店へ訪問理容を依頼したり、馴染みの理髪店を利用したりと本人の意向を取り入れて支援してる。また、希望があれば職員が毛染めの支援をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの出来る力を見極めて、食材の下ごしらえなどが無理なく出来るように支援をしている。また、利用者に分かり易ように、毎日、献立をホワイトボードに掲示している。	献立表やメニューを決めず、利用者の希望や要望に応じた、食事を提供している。また、行事食や誕生日にちらし寿司を提供したり、食材の下ごしらえを利用者と一緒に行う等して、食事を楽しむ事が出来るように支援している。訪問されたご家族へも一緒に食事を提供することもある。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食、食事チェック表を基に、一人ひとりの好みや食事形態を把握して支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔チェック表を基に、一人ひとりの口腔状態を把握して支援を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を基に一人ひとりの排泄状況を把握して支援を行っている。	利用者の排泄パターンや排泄動作能力を把握する事で、オムツ使用の軽減に努めながら、自立支援に向けた対応を図っている。プライバシーや自尊心を傷つけない声かけ等の工夫も行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を基に、一人ひとりの排便状況を把握して支援を行っている。また、毎日ラジオ体操を取り入れて、適度な運動にも心がけている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決めておらず、利用者の要望に沿えるように支援を行っている。	入浴日や時間帯を制限せず、利用者の希望に合わせた入浴支援に努めている、また、入浴拒否の利用者については、無理をせず、入浴のタイミングが合うまで待ってから支援するなど、利用者中心の対応に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝・起床時間も決めておらず、利用者一人ひとりのリズムに合わせて支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服ファイルを作成し、一人ひとりの内服状況を把握し、変更などあった場合もその都度報告、確認をしている。服薬チェック表を使い、服薬確認も行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの「出来る力」を見極め、本人らしさが引き出せるように声かけや支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	一人一人の要望を汲み取りながら、外出への支援を行っている。また、御家族や本人の希望があれば、冠婚葬祭等の付き添い支援も行っている。	利用者の健康状態を考慮し、散歩や遠足、冠婚葬祭の付き添いや病院受診、やごろうどん祭りの参加や県下一周駅伝への応援等、家族や地域の人々と協力しながら、日常的な外出支援に努めている。また、在宅時の生活地への外出同行では、懐かしい方々と触れ合うことができる。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとりの要望に応じて支援を行っている。家族、福祉事務所の要望がある場合、事務所や職員が管理をしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	家族や知人からの電話の受け答えや電話を掛ける事ができるように支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた品物（花・小物等）をホール、壁面等にレイアウトし、季節感等を取り入れ、居心地良く過ごせるように工夫している。	白の内壁で木材をふんだんに使用した温かい作りで季節に応じた、飾りつけやレイアウトとなっている。外部の刺激が軽減されており、暖房で乾燥しないよう、加湿器も設置されており、利用者が居心地良く過ごせる共有空間作りとなっている。各階の共有スペースに和室があり、炬燵を置く等して、自宅で生活していた時のような雰囲気づくりに努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	場所を特定せず、一人一人が、自由な場所で思い思いに、過ごせるように努めている。喫煙場所においては数ヶ所、準備している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が、使い慣れたもの、愛着のあるものを持ち込んで、居心地良く過ごす事が出来るように工夫している。	自宅で使用されていた愛着のある私物を持ち込む事で、居心地よく過ごせるような居室の配慮、工夫をしている。中には、仏壇や位牌を置かれている利用者もおられ、本人の意向に沿った居室環境を提供している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	「自分のできること」を生活に活かせるように努めている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	基本理念はわかりやすい言葉にして掲示している。毎朝1階2階合同の申し送りをして、共通認識を持つように努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の交流や行事へ積極的に参加をし、地域に根づく施設を目指している。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の小学校へ福祉講座などしたり、地域の方々の福祉相談にも応じるように努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を行い、意見交換を行っている。会議での意見も職員会議などで話し合いをして迅速に対応している。また、会議議事録は必ず推進委員へ送付している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	行政主催の勉強会へも積極的に参加をしている。また、サービス運営等で疑問が生じた際などは、相談などもしている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	日頃から徹底して伝える努力をしている。また、施設内で勉強会をし、全職員の共通認識を高めるように努めている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	日頃から徹底して伝える努力をしている。また、施設内で勉強会をし、全職員の共通認識を高めるように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	毎年「高齢者の人権擁護」に関する外部研修参加を積極的に促している。また、日頃から行政や包括支援センター等へも相談・助言等を頂きながら、対応をするように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際は、重要事項説明書、サービス利用契約書、同意書等にて説明を行い、利用者の思いも含め、ご家族の了解を頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日頃から利用者の要望等や思いを意識して聴くように努めている。また、ご家族とも面会時や電話などで要望や意見がしやすい雰囲気作りに努めている。意見や要望やミーティング時など職員へ伝え、改善に取り組むように努めている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日頃から職員の意見や提案を汲み取るように努めている。必要に応じて、個人面談の場も作り相談等にも応じている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の要望等の含め、柔軟に対応している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得や研修参加など積極的に支援をしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホーム連絡協議会に参加し、他のグループホームとの交流や情報交換を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談の段階から、本人との関係を築けるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談の段階から、家族との関係を築けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時点から「今、何が必要か」を見極めた対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は「共に生活をする仲間（家族）」の思いを持ちながら、日々の暮らしの中で感情を共有しあう関係を大切にして支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は家族の思いを受け止めながら、家族と共に利用者の生活を考えるように支援をしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の馴染みの関係性を大切にした支援をしている。（自治会への参加や墓参り）また、本人の要望で、自宅への外泊も支援している。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの個性を見極め、利用者同士の関係作りにも努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院等でサービス利用（契約）が終了しても、その時の状況に応じて、支援を継続するように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のかかわりの中で言葉やしぐさ等で一人ひとりの思いを把握するように努めている。また、朝の申し送り時は1階2階合同で行い、情報の共有に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	得られた個人情報だけでなく、日々の暮らしの中で「その人らしさ」が生かせるように取り組んでいる。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日頃から一人ひとりの生活リズムを把握しながら、本人の望む生活が出来るように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活で本人、ご家族の思いを汲み取りながら、介護計画を作成してる。また、カンファレンスやモニタリング、定期的な担当者会議にて、本人、家族、担当医、職員の意見を反映するように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録や業務日誌だけではなく、毎朝1階2階合同の申し送り時、気づきや話し合いをして介護実践へつなげるように努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人ひとりのニーズに対し、柔軟且つ最大限に取り組むように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人の意向を取り入れながら、関係機関等と協力しながら、取り組んでいる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関と連携を図り、本人、家族の要望に柔軟に対応するように努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日頃から、協力医療機関と連携を取り医療面、健康面の相談を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関と連携を図りながら、その時に応じた支援を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	基本「看取り」は行っていないが、本人や家族の意向があれば、協力医療機関等と連携を図りながら、対応を行うことにしている。また、日頃より家族とも状態変化時の対応等についても話し合うようにしている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	職員は、定期的に救命救急講習を受け、心肺蘇生法の訓練を受けている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年二回の防災避難訓練だけでなく、毎月自主訓練も行っている。また、運営推進会議の開催に合わせ自主訓練を行い、運営推進委員の方々に訓練の様子をみてもらい、意見を頂いている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日頃から利用者一人ひとりの人格を尊重した対応を心がけている。また、基本台帳は相談室の鍵のかかる棚に保管し、外来者の目につかない場所に保管している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃より、利用者一人ひとりが自分の思いを表現できるような雰囲気作りに努め、声かけや支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の日課は決めず、利用者一人ひとりが「自分らしい」生活が出来るように支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	地域の理容店へ訪問理容を依頼したり、馴染みの理髪店を利用したりと本人の意向を取り入れて支援してる。また、希望があれば職員が毛染めの支援をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの出来る力を見極めて、食材の下ごしらえなどが無理なく出来るように支援をしている。また、利用者に分かり易ように、毎日、献立をホワイトボードに掲示している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食、食事チェック表を基に、一人ひとりの好みや食事形態を把握して支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔チェック表を基に、一人ひとりの口腔状態を把握して支援を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を基に一人ひとりの排泄状況を把握して支援を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を基に、一人ひとりの排便状況を把握して支援を行っている。また、毎日ラジオ体操を取り入れて、適度な運動にも心がけている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決めておらず、利用者の要望に沿えるように支援を行っている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝・起床時間も決めておらず、利用者一人ひとりのリズムに合わせて支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服ファイルを作成し、一人ひとりの内服状況を把握し、変更などあった場合もその都度報告、確認をしている。服薬チェック表を使い、服薬確認も行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの「出来る力」を見極め、本人らしさが引き出せるように声かけや支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	一人ひとりの要望に応じて支援を行っている。家族や地域の要望にに応じて地域の行事や冠婚葬祭など送迎や付き添いを行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとりの要望に応じて支援を行っている。家族、福祉事務所の要望がある場合、事務所や職員が管理をしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人の要望に応じて家族や知人等との連絡など、支援を行っています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	レイアウトから季節感や生活感を感じとれるように工夫をしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者の関係を把握した空間作りをしたり、声かけや支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	一人ひとりが自分の居室で気持ちよく過ごせるように工夫をしてる。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりが出来る力を生かせるような工夫や環境作りに努めている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない